

2025 年 8 月 5 日



たてくろジオパーク だより 第 81 号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町 5-5 タワー 111 ビル 1 階

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

f https://facebook.com/tatekuro

黒部市小学生のジオパーク体験学習

黒部市の小学 5、6 年生がジオガイドの案内で地元を学ぶ「ジオパーク体験学習」は、全 9 小学校が 7 月 11 日までに、予定の場所を巡ることができました。各校、午前は、猫又駅までのトロッコ電車乗車体験、午後はやまびこ遊歩道や温泉噴出付近など宇奈月界隈を巡りました。やまびこ遊歩道では、旧山彦橋を渡り、一部のグループはトロッコ旧線のトンネルを抜けて、「冬期歩道」を歩く体験もできました。暗く狭い歩道を 1 列に歩くことで、困難を極めた電源開発の歴史や、ダム・発電所の維持管理の大変さを、肌で感じることができたのではないのでしょうか。

宇奈月の街を巡っているときには、住民の方から「黒部市はふるさと教育に力が入っているね」とたびたびお声がけいただきました。今後も立山黒部ジオパークはその一端を担ってまいります。



7/15 令和 7 年度 第 1 回 ジオカフェ開催！

「uozu でジオカフェ」が、魚津市で 70 年続く「甘党の店 竹酔堂 (ちくすいどう)」さんで開催されました。「ジオカフェ」は、地元のお店で食事などを楽しみながら、ジオパークの視点で地域について皆で語りあい、つながりを広げていこうというものです。今回はコロナ禍後、2 回目の開催で、22 名の方にご参加いただきました。お好み焼きを焼き、加積りんご 100% のジュースを飲みながら、片貝川扇状地に位置する魚津の地形的な特徴や、ジオに関わる水、食べ物などのちょっとゆるめの話をお聴きしました。気候変動の影響など、ごく近年の状況説明もあって、とても興味を持って聴くことができました。

後半は、空撮動画を背景に、地元のジオガイドさんによる見どころ解説タイムになり、空から見る桃山運動公園が河岸段丘の地に造成されていること、円筒分水槽は地元東山の他に、南砺や氷見などを含め県内に 5 箇所あることを解説していただき、新たに知ることが多くありました。

お好み焼きと甘味を飲みながら、地元魚津をはじめ、立山黒部ジオパークエリアのステキを感じることができる楽しい時間でした。次のジオカフェの予定が決まりましたら、ジオパークのことをよく知らないみなさんにも広くご案内して、また楽しい時間を過ごせればと思っています。



6、7月のジオパーク散歩から

6/25 ジオパーク散歩 in 芦峯寺

6月25日（水）に立山町の芦峯寺でジオパーク散歩がありました。今回は「立山信仰登拝と布橋灌頂会を感じてみよう」をテーマに、雄山神社、教算坊、閻魔堂、布橋など、立山信仰ゆかりの地を巡りました。布橋灌頂会は江戸時代に立山登拝を許されなかった女性たちが、この世とあの世の境とされる布橋を渡ることによって極楽往生を願ったとされる儀式で、現在も立山町の行事として3年に1度開催されているそうです。この日はあいにくの空模様でしたが、布橋を渡った先では立山を見ることができました。



7/7 ジオパーク散歩 in 水橋

七夕のこの日、富山市の水橋でジオパーク散歩があり、ガイドの案内のもと東西橋周辺の約3.5kmを散策しました。かつて常願寺川は白岩川に合流するように流れており、合流地点から河口までの区間は水橋川と呼ばれ、川幅は現在の白岩川の2倍以上（約230m）あったといわれています。明治初期には木製の立山橋が架けられ、川の安泰を願い、橋の傍らに水神社が建てられました。今回のジオパーク散歩では兩岸の水神社を巡り、水橋川がどれだけ大きな河川だったのかを身をもって体感することができました。



7/16 ジオパーク散歩 in 美女平

7月16日、今年度15回目のジオパーク散歩が立山黒部アルペンルートの美女平であり、参加者は森林浴を楽しみながら遊歩道を歩きました。美女平には名前が付けられたスギが9本ありますが、今回はそのうち7本を巡りました。どのスギも特徴的な形をしており、名前を聞くとなるほどと思うものばかりでした。帰り道でヨツバヒヨドリを見かけ、アサギマダラの好きな花だねという話をしていたところ、運良く花に止まるアサギマダラにも出会えました。



身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。下記をご参照ください。



パンフレット

（富山県気候変動適応センター）

地球温暖化と富山の未来

身の回りの気候変動を考えよう！

<https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cca-pamphlet-2021toyama.pdf>



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



8、9月のジオパーク散歩

*参加費 500 円

立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

立山黒部ジオパーク各地域の地形・地質や自然、文化をジオガイドの解説を聞きながら、ゆっくりと歩いて楽しみませんか？

詳細は 協会ホームページ、SNS、各自治体の広報誌でお知らせいたします。

参加費 500 円で、どなたでもご参加いただけます。

お申し込みはメール、FAX または電話で、

①参加者氏名（同伴者含む）②住所 ③電話番号
をお知らせください。

申込先：立山黒部ジオパーク協会事務局

E-mail info@tatekuro.jp TEL 076-431-2089 FAX 076-482-3204

※最小催行人数は4人です。申込締切日までに最少催行人数に達しない場合は中止します。

募集中！



最近のジオパーク散歩の様子

ジオパーク散歩 in 称名滝

〈日本一の落差を誇る称名滝～誕生の秘密～〉

【日 時】8月23日（土）13:00～15:00（受付 12:45～）

【集合場所】称名平休憩所（資料展示館）前

【見学場所】称名遊歩道を通って滝見台園地へ

（大日岳登山口～飛竜橋～称名川発電所～称名橋～称名滝展望台）

【持 ち 物】歩きやすい靴、帽子、飲み水、雨具（レインコートなど）

【対 象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】8月20日（水）定員 10 名先着順

ジオパーク散歩 in 岩峠寺

〈常願寺川扇状地での文化と歴史を訪ねる〉

【日 時】8月30日（土）9:45～12:00（受付 9:30～）

【集合場所】雄山神社（岩峠寺）鳥居前

【見学場所】雄山神社境内～多賀の宮～分水工～左岸連絡橋

【持 ち 物】歩きやすい服装、飲み物、雨具など

【対 象】概ね 20 歳以上で、多少歩ける方

【申込期限】8月27日（水）定員 12 名先着順

ジオパーク散歩 in 美女平

〈巨木の杉の森、美女平の遊歩道を歩こう〉

【日 時】9月2日（火）9:30～12:00（受付 9:15～）

【集合場所】立山黒部アルペンルート美女平駅

【見学場所】火炎杉などの巨木を見ながら美女平遊歩道を歩きます

【持 ち 物】歩きやすい服装と靴、飲みもの、雨具など

【対 象】どなたでも（小学生以下は保護者同伴）

【申込期限】8月29日（金）定員 10 名先着順

黒部市吉田科学館

特別展 さわる！地球・宇宙展

「さわる宇宙展」がバージョンアップ！地球から宇宙まで、いろいろなものにさわって体感できる特別展となりました。音と画像で昼間の流れ星をリアルタイムで観測する展示もあります。詳しくは、こちらを→



魚津埋没林博物館

魚津の光る石と博物館地学標本コレクション初公開！

お盆のイベントとして光る生物・鉱物観察会を開催します。バットの材料にもされる樹木「アオダモ」の液がブラックライトで光る様子や鉱物の蛍光等様々な「光」を紹介します！

日時：8月9日（土）
～11日（月祝）
11時～、13時30分～
（各回 30 分程度）

場所：研修室

定員 20 名（当日先着順）

参加費 無料

（参加には入館料が必要です。）



魚津水族館

世界で最も美しい湾クラブ加盟 富山湾パネル展

富山県では「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟する富山湾を紹介するパネル展を魚津水族館で開催しています。

期間

9月1日（月）まで

場所

3階うおすいファミリーム

（入場には入館料が必要です。）



特別展

2025年7月19日（土）

～2025年9月7日（日）

さわる！地球・宇宙展

入場無料

「さわる宇宙展」がバージョンアップ！地球から宇宙まで、いろいろなものにさわって体感できる特別展となりました。音と画像で昼間の流れ星をリアルタイムで観測する展示もあります。



音と画像で知る流れ星（電波観測）



アルマ、すばる、ハッブル望遠鏡の模型



点字でわかる富山の地形模型



さわってプレートがわかる！海底地形模型



隕石、宝石、大昔の石、海底火山の軽石

協力

富山県視覚障害者福祉センター
南谷 和範（大学入試センター）
嶺重 慎（京都大学名誉教授）
渡辺 哲也（新潟大学）
あかり@あすとろーえふ



石倉町の延命地蔵の水（富山平野エリア） — 水の災いと恵みが共存する場所 —

富山市街を流れる「いたち川」沿いには、延命地蔵尊がいくつも祀られています。安政5年（1858）に発生した飛越地震により、立山カルデラの一部が大崩落し、溜まった土砂が自然のダムを作り、それが決壊して常願寺川からの濁流が町を襲いました。多くの死者や病人が出たなか、夢のお告げで川底からお地蔵様を引き上げて奉ったところ多くの病人が救われたと伝わっています。

石倉町の延命地蔵が祀られている場所は、常願寺川が運んだ土砂の堆積によってつくられた、扇状地の扇端部にあたります。扇状地はたびたび洪水に見舞われますが、扇端部では豊かな水の恩恵を受けることができます。

この場所では、扇状地に染みこんだ立山の豊富な雪解け水が、清純な地下水となって湧き出し、万病に効くといわれ延命地蔵の水として人々に利用されています。

石倉町の延命地蔵の水は、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。



サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりさせませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

7/23 富山市民大学

今年度全10回の富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」コース、7月は富山県立山カルデラ砂防博物館の丹保学芸課長補佐を講師に迎え、「地震がつくる富山の風土」の講義がありました。



時にはパネルを示しながら、地震と活断層の姿を知ることや身近な地形の断層や地震との関わりを知ること、過去の様々な震災で得られた教訓を学ぶことなどをお話しされました。

夏空が広がりとても暑い日となりましたが、多くの方が受講されました。次回はやや間隔をあけ9月に開かれます。

〈編集後記〉

今回久々に開催されたジオカフェには、予定を超える22名のみなさんに参加いただきましたが、協会会員や関係者がほとんどで、「ジオパークってなんだろう？」という感じで参加された方はいらっしゃらなかったことが残念でした。会員相互の交流を推進することや、誰でも楽しく地元を語る輪を広げ、ジオパークの認知度も上げていこうということが趣旨ですので、次回以降は、事前に一般のみなさんにも広くご案内するよう、工夫していきたいと思っています。



ジオパークだよりへのご意見などこちらへどうぞ！



6/1、7/6 ジオガイド養成講座

新規ジオガイド養成講座の第6回目は、6月1日に富山県立山カルデラ砂防博物館の丹保課長補佐による常願寺川下流域の現地解説で、西大森の大転石、称名滝、百間滑などを巡りました。午前中は霧がかかり視界が良くない状況でしたが、残雪と迫力ある滝の様子を見ることができました。



7月6日の第7回は富山県立山カルデラ砂防博物館での講義で、前半は第6回の現地講座講師の丹保学芸課長補佐から「立山の地形と地質」をテーマに弥陀ヶ原台地や室堂平の成り立ちや特徴について解説いただき、後半は飯田学芸課長に「立山の雪と氷河」というテーマのもと、水が削る地形と氷が削る地形の違いなどを解説いただきました。どちらの内容も大変勉強になり、9月の最後の現地講座が楽しみになる内容でした。



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

